



冷たい、痛い…
40秒の人間修行!?

冷気漂う山あいで落差8mの滝に打たれてきました。
怖さ、痛さ、冷たさは想像以上です。
でも、このピンチを乗り越えた後の充足感は最高でした。

栃木の山奥で滝行

プチ
たきぎょう

【出流山満願寺】

滝行の前に、ちよと寄り道して蔵の街栃木駅周辺を男一人粋な着物姿に扮して散策しました。街の中心を流れる巴波川沿い周辺には、江戸から明治にかけての見世蔵や土蔵群、大正ロマン漂う洋館などが残っており、プチ時間旅行を大いに楽しみました。

目指す満願寺へは、栃木駅前からバスに乗り約1時間で到着です。本坊で受付を済ませ、指導して下さるお坊さんと一緒に山道を15分ほど登っていくと、絶壁の岩肌の裂け目から水が勢よく流れ落ちるパワースポット、大悲の滝がありました。辺りの空気がひんやり。滝の側にある小屋で行衣に着替えます。ちなみに行衣の下はふんどしが基本ですが、海パンOK。よかった…。

まずはお坊さんから作法を聞きます。滝の前で一礼し、合掌しながら肩で水流を受けること。頭で受けると水量や水圧、冷たさで失神する場合もあるそうです。落差8m、この日の水温は約8度です。

お坊さんのお手本を見た後、私は圧倒的な水量と勢いに怖れ、痛み！しかしすぐに何もかも忘れて、水圧に負けてはね飛ばされないよう無我夢中で両足を踏ん張っていました。

40秒ほど経過。「終わりです」とお坊さん。ブーッ(安堵のため息)。過酷な滝行を終えると、不思議と自信がわき出し、なんだか人間的に成長できたような気がしました。でも多少の覚悟は必要だと思いました。



山門
徳川時代享保20年(1735年)の建立。一對の仁王尊像は足利時代の作。



本堂
徳川時代明和元年(1764年)に再建。筑波山の大御堂、奈良の興福寺大御堂と共に日本三御堂の一つ。



出流山満願寺〈滝行〉

765年に開山された古刹

- ◆場 所：栃木市出流町
- ◆費 用：滝行10人未満10,000円
(10人以上1人1,000円)
【行衣レンタル】
1着／1,000円
【入山料】300円
- ◆その他：要予約
- ◆問合せ先：☎0282(31)1717

※滝行は、ハード。指導者のもとで行い、持病がある方や体調不良の時は行わないこと。

「夕顔ラーメン」はやみ食堂

栃木県特産の半蔵のもとになる植物「夕顔」の実は粉を麵に練り込むことで、柔らかい食感のつくりとしたのどごしになっています。



旧栃木町役場

大正10年に建てられた大正ロマンあふれるおしゃれな木造の洋風建築です。



油伝味噌

塚田歴史伝説館&蔵の街遊覧船

巴波川沿いに黒塀、白壁の土蔵が並ぶビューポイント。館内には



玉川の湯

明治22年創業の薪焚きの銭湯。女将さんとの会話で心も温まりました。



江戸時代に油屋として創業後、味噌屋に。田楽盛合せをいただいで一休み。豆腐、こんにゃく、里芋に、それぞれ種類の違う味噌味が楽しめます。



着物を借りて…

「八重桜の会」さんから着物一式を借りられます。2000円。2名から10日前要予約。問合せ先：栃木市観光協会



町で出会った人

横山郷土館

店舗の右半分が麻問屋、左半分で銀行を営んでいた両袖切妻造と呼ばれる珍しい建物です。



とちぎ蔵の街観光館

見世蔵(店舗と住居を兼ねた蔵)を活用した観光案内所&土産物店です。



蔵の町 栃木散策